

融合プロジェクト

「能登の特色ある生業の再建・震災遺構の地域資源化に向けた取り組みに対しての私達の提言」

25班

清水菜乃 毛利彩音 南陽希 寺井啓祐 高尾英志 秦咲空

1. 私たちの提言

『再建が難しい港をジオパークに認定、港を集約化し
より強固なものに』



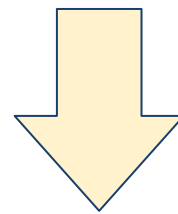
石川県創造的復興プラン

- ・柱2
能登の特色ある生業の再建
- ・取り組み10
震災遺構の地域資源化に向けた取り組み
- ・**長期**（余震が落ち着いた頃から）

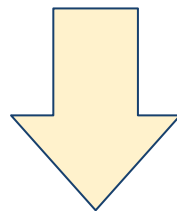
2. 計画内容



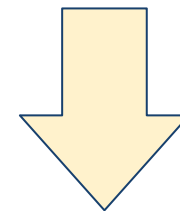
復旧する港を一部に絞る



予算の再分配



港のジオパーク化



港の集約化

3. 見込める効果

港のジオパーク化

- 学校教育に活用
- 観光地としての経済効果

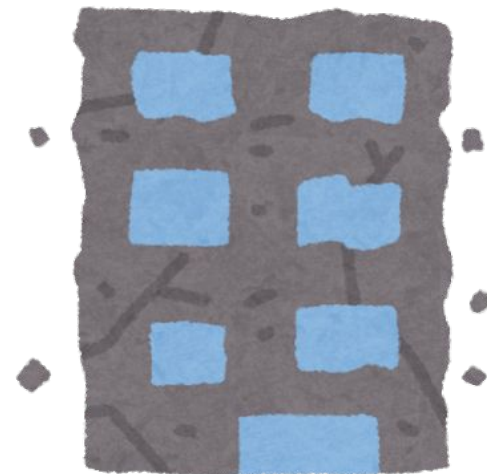
(例)室戸ジオパーク

- ・約2000万円の売上
- ・県の観光客が減少する中
町内では増加傾向



港の集約化

- 漁業関係者の高齢化問題
に対応
- 港の管理費用や労力の
継続的な削減



4. 実施するために

ジオパーク化

- ・大きな被害が確認された地域を危険がないように整備
- ・交通の整備
- ・ホームページやSNSを利用し宣伝
- ・既存の食や温泉、観光サービス整備

港の集約化

- ・集約化した港の耐震化
- ・工事中の事故に備え医療体制整備



<https://www.tokyo-np.co.jp/article/300858>

5. 実施後の計画

- ・ジオパークを用いた教育活動
 - 地震から得た知識・経験を後世に受け継いでいくための地域活動



- ・地域の特産物を用いた様々なサービスを提供
 - 観光面から経済効果をもたらす